

1 とちぎ将来構想（仮称）策定の趣旨

1 とちぎ将来構想（仮称）の基本的事項

1) 策定の趣旨

本県を取り巻く情勢は、少子高齢化、環境問題、産業構造改革、情報化、国際化など、大きな転換期にあり、この中で、中長期的視点から展望した県政の課題と、それに対する計画的・戦略的な取組方向を明らかにするため、「とちぎ将来構想(仮称)」(以下「将来構想」という。)を策定する。

2) 構想の期間

人口減少や地球環境問題などの影響が本格的に顕在化・深刻化すると考えられる21世紀中葉までを展望しながら、今後10～15年後程度を想定した計画的・戦略的な取組みの方向を検討する。

2 策定体制等

1) とちぎ将来構想（仮称）懇談会の設置(委員20名)

2) 県民意見の反映

県民と共に歩む県政の具現化を図るため、策定過程における県民意見の重視や透明性の確保に最大限配慮する。

- ・シンポジウムの実施
- ・県民アンケート調査の実施
- ・県政モニターの活用
- ・インターネットによる策定過程の公表及び意見募集

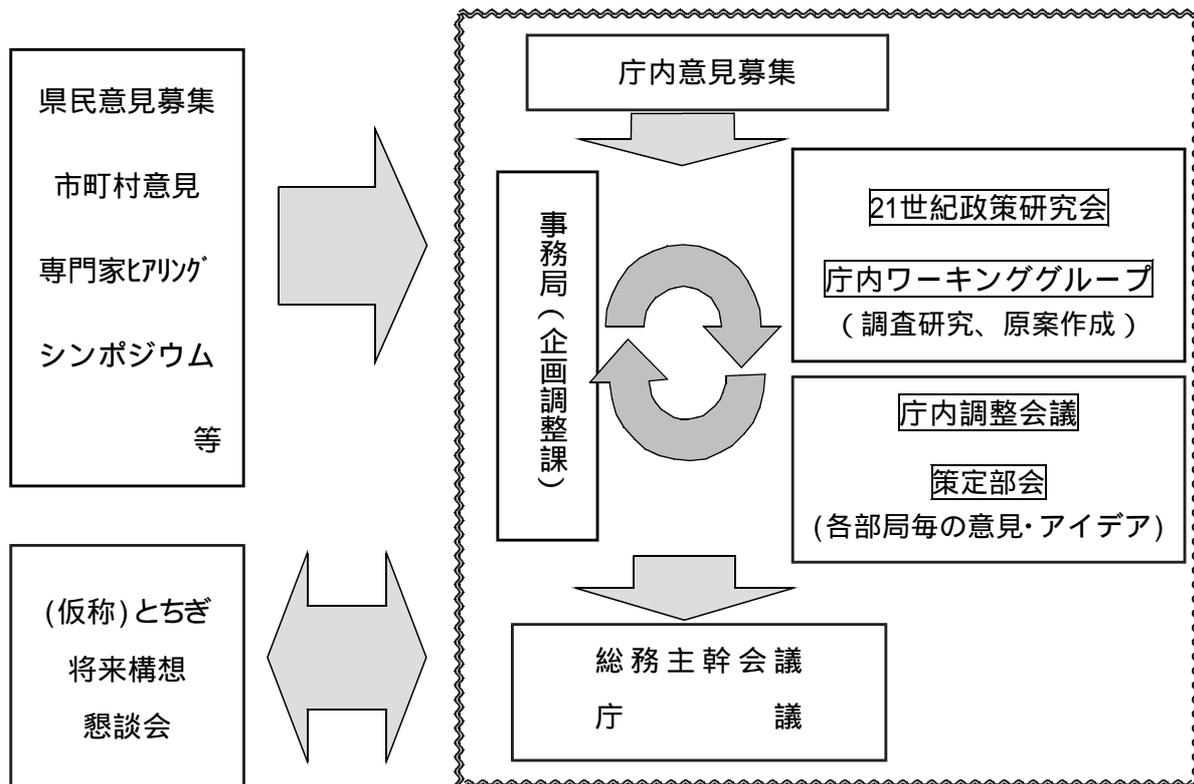
策定状況やとちぎ将来構想(仮称)懇談会の概要などを本県のホームページに掲載

3) 市町村意見の反映

県内市町村の課題や意向を把握するための意向調査等を実施する。

4) 庁内体制の整備

- ・庁議、総務主幹会議
- ・21世紀政策研究会、庁内ワーキンググループ(随時懇談会委員からの意見聴取を行う。)
- ・とちぎ将来構想（仮称）策定調整会議、策定部会
- ・庁内意見募集



3 概ねの策定スケジュール

- | | | |
|-------|-----------|---|
| 平成13年 | 7月 | 将来構想策定要綱の制定 |
| | 9月 | 庁内策定体制の整備・ホームページ開設 |
| | 12月21日(金) | 13時～15時(栃木県公館) |
| | | 第1回将来構想懇談会 (策定方針・構成案提示・フリートキнг*) |
| | | 県民アンケート調査、県政モニター活用、市町村意向調査等 |
| 平成14年 | 5月 | 第2回将来構想懇談会 (第1次素案提示) |
| | 11月 | 第3回将来構想懇談会 (第2次素案提示) |
| 平成15年 | 2月 | 将来構想庁議決定・公表 |